

番号	交付金事業名		事業主体名	
6	「原子力防災・危機管理」教育研究推進事業		福井県(福井大学)	
事業実施場所		福井大学附属国際原子力工学研究所(敦賀市鉄輪町)		
事業の概要		福井大学附属国際原子力工学研究所の「原子力防災・危機管理部門」における放射線計測・防護領域に関する講座において実施する教育研究事業に対して助成を行う。		
事業に要した経費(円)		15,958,745	交付金充当額(円)	15,958,745
事業の成果及び評価		<p>以下の取組みにより、原子力災害に対する住民の安全・安心の確保に貢献した。</p> <p>①敦賀市内の小中学校での空間線量の観測や線量情報の発信、防災担当者間の情報伝達方法の検討を進め、きめ細かい放射線情報を住民に提供するための環境や災害時の連絡体制の整備に向けた取組みを進めた。</p> <p>②低線量被ばくの人体への影響の解明に向け、細胞の生存率測定実験を自動化するための研究を進めた。</p> <p>③住民個人の集積被ばく線量を実測により評価する新手法の開発に向け、放射線照射によるDNA切断を評価する手法の有効性の検討を行った。</p> <p>④住民等を対象としたセミナーや出前講座等を開催し、放射線に関する知識の普及を推進した。</p>		
事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	「原子力防災・危機管理」教育研究の推進	補助	国立大学法人福井大学	15,958,745
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無		予定なし		
本事業に来年度以降も交付金を充当させる場合の本事業に係る基本的な考え方		原子力防災・危機管理分野の研究・教育を進めることで、原子力に対する県民の安全・安心につながるとともに、原子力防災・危機管理体制の構築、原子力安全や原子力防災にかかる人材確保に寄与するものであり、来年度以降も引き続き支援していきたい。		
事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		—		